

デジタルガバメント技術検討会議 グランドデザイン WT について

2019 年 7 月 5 日

内閣官房 IT 総合戦略室

1. 前提

政府情報システムに関する予算・調達一元化の目的は、従来の縦割りでのシステム化を排し、統一的な政府情報システムの将来的なあり方(グランドデザイン)に基づき、横断的かつ業務改革(BPR)を意識したサービス視点での政府情報システムの整備・運用を実現することで、行政の政策手法そのもの、ひいては社会全体の在りようを変革していくもの。

これを具体的に進めるためには、

- 我が国の経済社会や技術の進展を念頭に置きつつ、中長期的に実現すべき行政サービス像とそれを支える政府情報システムの将来的なあり方(=グランドデザイン)の明確化
- 既存システムや業務のグランドデザイン移行に向けた方針整理
- 特に、政府全体で共通的に利用するシステム・基盤・機能等(デジタルインフラ)の特定と整備の具体化 が必要

※デジタルインフラの概念は以下の通り (参考資料 p4)

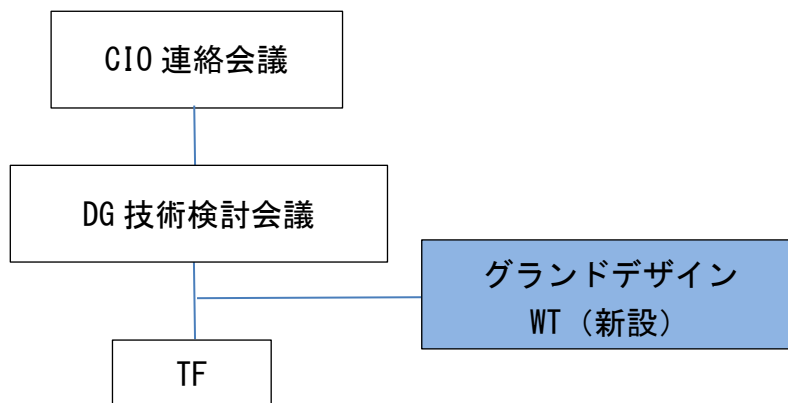
- 現在稼働中の府省共通システムのみならず、現在構築中のものや、将来的に整備・検討すべきものを含む
- サーバー等のシステム稼働環境に係る基盤の他、共通業務に係るアプリケーションや、複数の業務で参照・利用するデータ構造も含む
- 情報システム(クラウドサービス含む)を一括して整備し複数省庁で利用する場合のほかに、共通仕様やデータ構造・分類体系の標準を策定し、当該仕様を用いて整備・運用を行うパターンも考えられる

2. 検討の進め方(デジタルガバメント技術検討会議と連携)

(1) 検討体制

- グランドデザイン WT を、デジタルガバメント技術検討会議直下に設置(メンバー構成は別紙、原則非公開)

- グランドデザイン WT にて、行政サービスのグランドデザイン素案と実現に必要なデジタルインフラの特定やその他検討課題を洗い出し
- 各課題について優先順位を付けつつ、関連するTF(必要に応じてサブWTを設置)にて具体的な検討を実施
- 各論の検討成果を活用して、デジタルガバメント分科会等でも議論、関係省庁や民間・外部有識者の意見を取り入れ
- 検討成果は、デジタル手続法に基づく「情報システム整備計画」の一部にも反映を予定



(2)スケジュール案

- 6月19日 グランドデザイン WT の設置(DG技術検討会議決定)
- 7月 5日 デジタルガバメント分科会にて、WT設置等を報告・意見聴取
- ~7月末 行政サービスのグランドデザイン骨子・目次作成
実現に向けた検討課題の抽出と優先順位付け
※この間、WT を数回開催
- ~8月末 各論検討まとめ(関連TFやサブWTを活用)
WT 中間取りまとめ
↓ ※この間、関係省庁やデジタルガバメント分科会とも議論
- ~年内 WT 概要とりまとめ
デジタル手続法に基づく「情報システム整備計画」の策定
(WT検討成果を一部反映予定)
- ~年度内 細部の論点を含めて WT の成果物とりまとめ
「デジタルガバメント推進方針」の改訂(p)

デジタルガバメント技術検討会議 グランドデザイン WT

構成員名簿

座間 敏如	政府 CIO 上席補佐官	◎
平本 健二	政府 CIO 上席補佐官	☆
砂金 信一郎	政府 CIO 補佐官	
伊藤 豪一	政府 CIO 補佐官	
梅谷 晃宏	政府 CIO 補佐官	
大久保 光伸	政府 CIO 補佐官	
楠 正憲	政府 CIO 補佐官	
鈴木 章太郎	政府 CIO 補佐官	
田丸 健三郎	政府 CIO 補佐官	
長谷川 和人	政府 CIO 補佐官	☆
林 泰樹	政府 CIO 補佐官	☆
細川 努	政府 CIO 補佐官	
三木 浩平	政府 CIO 補佐官	
満塩 尚史	政府 CIO 補佐官	☆
宮沢 修二	政府 CIO 補佐官	☆
安川 新一朗	政府 CIO 補佐官	

事務局 内閣官房 IT 総合戦略室

◎は本検討チーム議長

☆はデジタルガバメント技術検討会議に設置するTF主査